

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	ダイオキシン類総合調査費		担当部局庁	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度～		担当課室	環境リスク評価室	長坂 雄一			
会計区分	一般会計	政策・施策名		6 化学物質対策の推進 6-2 環境リスクの管理 9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ダイオキシン類対策特別措置法第6条、第39条 環境基本法第28条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	法律に基づく基準値として、ダイオキシン類の耐容1日摂取量を定めている。本調査は、各種モニタリング調査の結果を総合して、国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を推計し、血液中のダイオキシン類濃度を実際に測定することにより、国民の健康を守るために必要な基準値が達成されているか評価することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ダイオキシン類の影響に関して高いリスクを有する集団に着目したモニタリング調査を実施する。具体的にはハイリスク群候補となる集団を詳細検討により抽出し、選定された集団、およびリスクが少ないと見なされる対照集団において、血液中や食事のダイオキシン類等の濃度を測定し、体内の蓄積量とリスクを推計、その要因を分析する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	94	44	43	107	107	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	△72	72	0	0		
	計		22	116	43	107	107	
	執行額		10	116	43			
執行率 (%)		45(%)	100(%)	100(%)				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	ダイオキシン類のばく露の現状を把握することが事業の目的であるため、成果を定めることが困難である。		成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ダイオキシン類の人への曝露量把握を目的とした調査参加者数		活動実績 (当初見込み)	人	175 (175)	255 (255)	84 (80)	- (80)
単位当たりコスト	506,511(円/人)		算出根拠	「平成24年度化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」の執行額(43百万)を調査参加者数で割った額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	公害調査等委託費	107	107	-				
	計	107	107					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオキシンのばく露量については、本調査以外に統一的・継続的に行われている調査研究がない。また、その他の化学物質も含め、国が集中的に全国のばく露状況を把握し、知見を収集することで、懸念される物質の選定、リスク評価及びリスク管理対策の立案、健康被害の未然防止などが可能となる。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式により、調査実施機関を選定。調査実施内容と経費の両面について、適正性を確認しつつ事業を実施している。 ・ダイオキシン類以外の化学物質の人体へのばく露状況調査と一体的に実施するとともに、国民の不安の大きい放射性物質をも調査対象に加えることにより、効果的、効率的な調査を実施した。また、過年度の調査データの蓄積を踏まえ、調査対象地域を全国網羅的なものからダイオキシン類のばく露量の特により、調査の合理化を図った。 ・専門家の検討会に環境省職員が出席し、調査の設計や解析等が適正に履行されたことを確認。また、地域の調査においても現地に環境省職員を派遣し、被験者への説明や検体採取に立ち会い、調査が適正に履行されたことを確認。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	本調査で得られた知見は、パンフレット等で広く公表すると共に、国際学会への発表など国内外へ情報発信している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	厚労省では、マーケットバスケット方式により、国民の平均的な食事からのダイオキシン類の一日摂取量を測定している。環境省においてダイオキシン類の1日摂取量をとりまとめる際に、環境省で調査したデータに加え、厚労省の当該事業のデータも使用している。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	ダイオキシン類の1日摂取量調査について、専門家の意見も踏まえ、環境省職員により摂取量データを適切にとりまとめた。世界的にも貴重なダイオキシン類の生体モニタリングデータが多数集積しており、経年変化は耐容一日摂取量よりも低いレベルで横ばいあるいは低下傾向であることを確認している。また、ダイオキシン類のほかフッ素化合物、農薬系代謝物、重金属など測定対象を広げ、幅広い生体モニタリングデータの収拾を図った。さらに、放射性物質を測定対象に追加し、国民のニーズと合致した調査を実施した。これらの調査については、化学物質による健康被害を未然に防止するために、今後とも継続する必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	入札者数を増やす工夫をした上で調査にあたっては効率的に行うこと					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	仕様書の記載内容が、透明かつ公正な競争入札の妨げにならないように留意しつつ、調査にあたっては効率的に実施する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	206	平成23年	207	平成24年	216

環境省
42.5百万

各種モニタリング調査の結果を総合して国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を推計するとともに、血液中のダイオキシン類濃度を実際に測定することにより、ダイオキシン類の耐用1日摂取量が達成されているか、評価することを目的としている。

【総合評価入札】

A.いであ(株)
42.5百万

化学物質の人へのばく露量モニタリング調査委託業務

【外部委託】

B.(株)保健科学研究所
0.5百万

血液・尿の一般項目分析

【外部委託】

C.東亜環境科学(株)
0.2百万

クロスチェック分析

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.いであ(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
分析費	試料分析	35			
人件費	研究者及び研究補助員	3			
諸謝金	検学会出席者、試料提供者	0.5			
その他	旅費	0.5			
外部委託	(株)保健科学研究所 他1	0.7			
その他	損料及び借料	0.1			
その他	印刷製本費	0.1			
その他	雑役務費	0.1			
一般管理費		0.5			
消費税	消費税及び地方消費税	2			
計		42.5	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	化学物質の人へのばく露量モニタリング調査委託業務	43	1	97.59%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)保健科学研究所	血液・尿の一般項目分析	0.5	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東亜環境科学(株)	クロスチェック分析	0.2	-	-